

バルスーズ (1973)

LES VALSEUSES

メディア 映画
ジャンル 青春 ドラマ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 119分
初公開日 1975/10/18
公開情報 FOX
リバイバル 1995/05 [ケイブルホーク]

【キャッチコピー】

どのみち人生 男と女！くどくど言わずやるこたあひとつー そこから生まれた真実だけが俺たち
〈人呼んでキ〇〇マ野郎〉が求める青春だ！

既成のモラルを根底からくつがえしたこの鮮烈な生き方に大人たちは真っ青！本場フランスでは「エマニエル夫人」と人気を二分した衝撃の話題作！

バルスーズとはフランス語で“睾丸”すなわち男性のキ〇〇マを意味するスラング

【解説】

奔走なI・ユペールの肢体を、逞しいドパルデューを日本のファンにも決定的に印象づけた、ヌーヴェル・ヴァーグ以後、最も衝撃的なフランス映画。実際、あの「禁じられた遊び」のB・フォッセー演じる若妻が列車内で強姦される場面や、長い刑務所生活で生理も終り、絶望の中、主人公らと交わった後自殺する（それも凄い方法で！）J・モローの中年女など未だ鮮烈に脳裏に刻みつけられている。題名は睾丸を意味する隠語で、本能の命じるまま、気の赴くままに放浪生活を続ける二人の男をドパルデューと'82年に自殺したP・ドヴェールが演じ、ミュウ＝ミュウが彼らと行動をともにする不感症女に扮している。ユペールの役は旅の途中出会う反抗期の少女で、自ら彼らとのセックスを望む（淫らにワンピースを着こなしほとんど半裸であっけらかんと迫るのだ）。監督ブリエはこの頃に較べれば、ごく穏当な映画を作るようになった（時代が追いついたのか?!）。S・グラッペリの軽快なジャズ・ヴァイオリンも印象的である。

【クレジット】

監督	ベルトラン・ブリエ	Bertrand Blier
脚本	ベルトラン・ブリエ	Bertrand Blier
	フィリップ・デュマルセル	Phillippe Dumarcay
撮影	ブルーノ・ニュイッテン	Bruno Nuytten
音楽	ステファーン・グラッペリ	
出演	ジェラルド・ドパルデュー	Gerard Depardieu
	ミュウ＝ミュウ	Miou-Miou
	パトリック・ドヴェール	Patrick Dewaere
	ブリジット・フォッセー	Brigitte Fossey
	ジャンヌ・モロー	Jeanne Moreau
	イザベル・ユペール	Isabelle Huppert